



BONJOUR, COULOMMIERS!

6月7日（水）の放課後、フランス・クロミエ総合高校とのオンライン交流が実施されました。本校では、今年度から、クロミエ高校との交流を始め、すべての国際交流を再開します！

この日は、webexテレビ会議システムを用いて、オンラインでつながりました。今秋、クロミエから三木高校に来る生徒たち、また、同じくこの秋に三木からクロミエに行く生徒たち、そして、ホームステイでの受入れを考えてくれている生徒たちが、お互いに自己紹介を行いました。クロミエ高校生からのキーワードは、「トーキョー」、「まんが」、「天ぷら」、「スシ」、「富士山」、三木高校からのキーワードは、「グルメ」、「アート」、「文化」などでした。早速インスタでつながった生徒たちもあり、どんな交流になるか、これからが楽しみです。



ちなみに来春には、カナダ・バンクーバーへの研修旅行（国際総合科2年生）や、アメリカ・キャミアック高校への短期個人留学（新規）を予定しています。

ホームステイ受け入れ家庭、現在も募集中です。国際・探究推進部まで。

「草の根国際功労賞」受賞！👑

本校は、日頃のさまざまな国際交流事業の実績を認められ、去る5月24日（水）、ひょうご国際交流団体連絡協議会より「草の根国際功労賞」を戴きました！この賞は、同協議会より、「国際交流や多文化共生社会づくりに顕著な功績のあった個人又は団体に対し」て贈られる賞です。今年度の受賞者は、5名の個人と、本校を含めた2団体のみです。（右下の写真は、「公益財団法人兵庫県国際交流協会」公式HPより。）

上述の通り、この度の受賞は、日頃の本校の国際交流活動、皆さんのボランティア活動などが評価されてのもので、私たちにとっては非常に励みになるものです。この夏もさまざまなボランティアの案内をしますので、ぜひ積極的に参加してくださいね。バタフライ・エフェクト、ハチドリのひとつずつ。「草の根」の活動が、いずれ世界を動かすのだと信じて。



「国際総合科説明会」

5月27日（土）、中学生を対象とした国際総合科の説明会が行われました。国際総合科に関心のある中学3年生とその保護者、中学校の先生らが来校され、本校国際総合科の2・3年生が中心となって学科の説明などを行いました。司会はもちろん、プレゼンテーション、座談会の進行など、状況を見ながら臨機応変に進めてくれて、周りから見ていても頼もしい限りでした。感謝！



ALTとの交流を始め、当日行われた企画はどれも非常に好評だった模様。今回参加してくれた中学3年生が、ひとりでも多く、来春、受験してくれることを期待したいですね♪

「出前講座」／ボランティア案内！

classiや教室掲示のプリントなどで、「Kid's English in Miki」「にほんご de まなぼう～夏休みの宿題をしましょう～（三木市）」「夏休み子ども日本語教室（小野市）」等々、この夏に行われる数々のボランティアをすでに案内しています。表面で紹介しました「草の根国際功労賞」のところにも書きましたとおり、毎年多くの生徒たちがボランティアに参加してくれています。今年もまた、多数の参加を待っています。

また、こちら教室にプリントを掲示しましたが、7月13日に通算で第7回目となります「三木市国際交流協会 出前講座」が予定されています。コロナ禍でなかなか直接国際交流がしにくい状況を踏まえてスタートしたこの事業。今回は、ペルー、タイ、ラオス、オーストラリア出身の方々との交流が計画されています。国際総合科はもちろん、普通科の生徒も募集をしていますので、普通科で出席を希望する生徒は、7月7日（金）までに国際・探究推進部（西岡or土井）まで申し出てください。

梅雨の季節です。この時期の花といえば、アジサイ。『万葉集』では「味狭藍」「安治佐為」、平安時代には「阿豆佐為」の字をあてていたのを現在のように「紫陽花」と書くようになったのは、唐の詩人：白居易が別の花を表した「紫陽花」を、平安時代の学者が誤ってアジサイにあてたからだそうです。

近頃は「ハイドラングア（Hydrangea 「水の器」）」の名で多くの種類が見られ、「外来の花？」と思われるかも知れませんが、原種は日本に自生するガクアジサイ。古く日本から中国へ伝わったものが、18世紀にさらにヨーロッパへと持ち込まれ、多くの園芸品種が作られました。そして日本に逆輸入された「ハイドラングア」は「セイヨウアジサイ」とも呼ばれています。

これとは逆に、昔から和歌にも詠まれている梅や、皇室の紋ともなっている菊は、「これぞ日本の花！」のように見えて、実は鑑賞用に輸入された外来の植物です。昨年度「総合的な探究の時間」で外来生物について研究していたグループがありましたが、植物も意外なもの日本原産であったり（そして海外で愛されたり迷惑をかけたり）、外来植物であったりします。興味のある人は調べてみましょう。 [国際・探究推進部長 田尻 淳]

tagebuch im ausland studieren

『独日 留学日乗』

ドイツからの留学生・小林克海セドリックさんにとっては、毎日が目新しいことだらけの様子。毎日英語（最近日本語も！）の「日誌」を提出してくれているのですが、その中からトピックスを紹介します。

先日の釜城祭（文化祭）では模擬店を体験し、「ドイツでは無い行事なので楽しかった」「ワッフルを焼くのが面白かった」と日本語で（！）話していました。

小林克海セドリックさんは、この夏、帰国する予定です。

